

リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド 2014年度第4四半期決算報告および事業概況

2015年2月2日 Reinsurance Group of America, Incorporated (ニューヨーク証券取引所コード: RGA) は、2014年度第4四半期の決算を発表しました。社長兼CEOグレッグ・ウッドリングのメッセージは以下の通りです。

「2014年度第4四半期は非常に堅調な業績を収め、営業利益 2億830万ドルを達成し（希薄化後一株当たり営業利益は 2.99ドル）、2014年度は大変好調な一年を締めくくることができました。別掲の通り、税調整が業績に好影響を与えましたが、当該調整の影響を除いても、当社は非常に堅調な業績を上げています。

2014年度第4四半期も事業地域・商品ラインにおいて多様化した収入源を有するグローバルなビジネスモデルが功を奏しました。特に当社の主軸である米国のトラディショナル・ビジネスが顕著に優れた業績を収める中、このところ好業績を達成しているグローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門およびカナダを除いたインターナショナル部門が機運を維持し、利益ベースで好調な実績を上げました。

2014年度の通期の業績には非常に満足しています。堅調な営業利益を達成し、世界各国で当社のブランド認知をさらに強化することができました。年換算自己資本利益率は12%を上回り、当社は強固な財務基盤を有します。マクロ経済的には依然として困難な要因が続くものの、当社では組織全体が一丸となって取り組み続け、今後のビジネスチャンスに明るい見通しを持っています。

堅調なビジネスの成長を補完するため、余剰の資本を用いた魅力のある既契約ブロックの買収と株主への適切な資本還元、両方のバランスがとれた方法で資本管理戦略を実行しました。2014年度第4四半期には保険契約のエンベディッド・バリューの証券化、および利益率の低い死亡保障契約ブロックの再々保険契約の出再を通して、資本効率向上への当社のコミットメントを体現しました。こうした取引により、当社は資本を再配備し、将来のリターンを向上させることができます。資本管理取引と堅調な業績とが相まって、当社の余剰の資本は約12億ドルになりました。先日開催した取締役会では3億ドルの新たな自社株買い枠を承認しました」

取締役会は、四半期配当金0.33ドルを2月13日時点で株主名簿に記載のある株主に対し3月6日に支払うことを発表しました。

2014年度第4四半期および通期決算報告*

2014年度第4四半期決算報告

- 純利益は1億9110万ドル（前年同期1億4500万ドル）、希薄化後一株当たり純利益は2.75ドル（前年同期2.03ドル）になりました
- 営業利益** は、2億830万ドル（前年同期1億5450万ドル）、希薄化後一株当たり営業利益は2.99ドル（前年同期2.17ドル）になりました
- 保険料収入は前年同期より微増し、22億ドルになりました

2014年度 通期決算報告

- 株主資本は 70 億ドル
- 営業利益** は、6 億 3800 万ドル（前年度 3 億 5840 万ドル）、希薄化後一株当たり営業利益は 9.12 ドルになりました（前年度 4.95 ドル）
- 保険料収入は前年比 5% 増加し（現地通貨ベース 6% 増）、87 億ドルになりました
- 2014 年 12 月 31 日時点の総資産は 447 億ドル

2014年度 第4四半期における事業の概況

- RGA は、スイス・リーの米国生命再保険事業部門が全額出資する子会社オーロラ・ナショナル・ライフ・アシュアランス・カンパニーの全株式を取得する契約を締結しました。この取引は、監督当局の承認を経て 2015 年上半期に完了する見込みです。同社はおよそ 8 万 2000 件の保有契約、27 億ドルの保険契約負債を有するものの、過去 20 年余りは新契約の引受をほとんど行っていませんでした。米国大手 IT サービス・プロバイダーであるコンピュータ・サイエンスの子会社アライアンス・ワン・サービスが今後も契約の事務代行を続けます。
- RGA リインシュアランスカンパニーは、米国個人生命保険の契約ブロックを再々保険によりパシフィック・ライフ・インシュアランス・カンパニーへ出再する取引を締結しました。この契約ブロックは個人生命保険契約（定期保険および終身保険）からなり、主に 1999~2004 年に米国の元受保険会社が引受けた後、RGA が受再しました。この取引により、2014 年 10 月 1 日を契約発効日に、約 2000 億ドルの危険再保険金額を有する個人生命保険保有契約ブロックが再々保険に出再されました。
- RGA は、RGA の子会社であるチェスター・フィールド・ホールディングスが米国生命保険契約のエンベディッド・バリューの証券化を行い、発行額 3 億ドルの債券（利率 4.50%）発行を実施したことを発表しました。この資産担保債券は、S&P による格付 A- (sf)を有し、平均残存期間は 4.7 年になります。主に 2006~2010 年に RGA リインシュアランスカンパニーが受再した閉鎖ブロックを証券化の対象にしています。この債券発行で得られた資金は、現行の資本管理計画に基づき当社の一般的な目的に使用します。
- 2014 年 12 月にグローバルおよび地域レベルの組織変更（2015 年 1 月 1 日付）を発表しました。主なポイントは以下の通りです。アラン・ニーメーはシニア・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント・グローバル・ライフ&ヘルス・マーケットに就任し、RGA の主軸となるトラディショナル・セグメント（生命・医療分野）をグローバルに管掌します。アナ・マニングはシニア・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント・グローバル・ストラクチャード・ソリューション&グローバル・アクイジションに就任し、グローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門およびグローバル・アクイジション部門を含む、既契約ブロックの取引等を管轄します。ドナ・キナードはシニア・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼 COO として、業容拡大を目的とした全社的取り組みを指揮すると共に、引き続き業務部門およびグローバル・アカウント部門を統括します。ジャック・レイはシニア・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼 CFO として、引き続きファイナンス部門および運用部門を管掌します。

- RGA は、2014 年度米国アクチュアリー会（SOA）年次大会において「破壊的イノベーション」をテーマに RGA スポンサー・セッションを設けました。新たな商品、サービス、およびビジネスモデルがどのように現状を改善し、さらには既存の体制の崩壊に至るのかを考察・討議する 3 つのセッションからなります。2014 年 10 月 26～29 日にフロリダ州オーランドで開催された同年次大会には世界中からおよそ 2000 人のアクチュアリーが参加しました。RGA が保険業界のイノベーションをテーマにしたセッションを開催するのは今回で 3 年連続になりました。

他の事業子会社は、以下の表に示す通り、第 4 四半期における財務力格付の変更はありません。

	RGA Reinsurance Company (主要事業子会社)	RGA Life Reinsurance Company of Canada (カナダの事業子会社)	RGA International Reinsurance Company Limited (アイルランドに拠点を置き、北米以外の事業をサポート)	RGA Global Reinsurance Company, Ltd. (バミューダに拠点を置き、北米以外の事業をサポート)	RGA Reinsurance Company of Australia Limited (オーストラリアの事業子会社)	RGA Americas Reinsurance Company, Ltd. (バルバドスに拠点を置き、事業をサポート)
S&P 保険財務力格付	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-
AM ベスト	A+	A+	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	A+
ムーディーズ	A1	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)

当社の 2014 年度第 4 四半期および通期決算報告の詳細内容は、当社ホームページ (www.rgare.com) の Investor Relations をご参照ください。

RGA の概要

2014 年 12 月 31 日時点において、再保険引受保有額約 2 兆 9000 億ドル、総資産 447 億ドルを有し、RGA は世界有数の生命再保険会社です。RGA は下記の各国において事業を行っています。

アメリカ、カナダ、バミューダ、バルバドス、オーストラリア、韓国、シンガポール、台湾、中国、日本、ニュージーランド、香港、マレーシア、アイルランド、イギリス、イタリア、インド、オランダ、スペイン、ドイツ、フランス、ポーランド、アラブ首長国連邦、南アフリカ、トルコ、メキシコ（地域別 50 音順）

注記事項

* 数値はすべて米ドル表示

** GAAP 会計基準に準拠しない財務指標について

当社は、営業利益という GAAP 会計基準に準拠しない財務指標を業績結果の分析に用います。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価も同指標に基づきます。営業利益（税引前および税引後）は、キャピタル（ゲイン）ロス、および組込デリバティブの公正価値変動や関連する繰延新契約費の影響を受けないため、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。信用市場や金利環境を受けて、前述のキャピタル（ゲイン）ロス等は変動し得るものの、必ずしも当社事業の業績を反映しないことがその理由です。

また、営業利益には、当社の現行事業を反映しない非継続事業の純利益(損)、および会計基準変更に伴う累積的影響は含まれません。営業利益の定義は各社により異なり、GAAP 会計の純利益の代用とはみなされません。GAAP 会計の純利益との調整については、下表をご参照ください。当社ホームページ (www.rgare.com) の Investor Relations ページには、四半期報告書および「Quarterly Financial Supplement」に付加的な財務情報が掲載されています。

2014 年第 4 四半期（10 月 1 日～12 月 31 日） 純利益から営業利益への調整（連結ベース）

(数値は未監査)

	(単位：\$ 1,000)	
	2014 年第 4 四半期	2013 年第 4 四半期
GAAP 純利益(損失)	\$ 191,091	\$ 144,959
キャピタル（ゲイン）ロス、デリバティブ他（正味）（資産運用関連（収益）損失に含まれる）	(15,281)	29,161
キャピタル（ゲイン）ロス、留保資産（資産運用収益に含まれる）	(891)	(1,651)
組込デリバティブ：		
資産運用関連（収益）損失（正味）に含まれる	43,826	(22,595)
投資利息に含まれる	(236)	1,817
繰延新契約費（正味）	(9,914)	2,818
投資性のない為替デリバティブ	(307)	-
営業利益（損失）**	\$ 208,288	\$ 154,509

RGA は、本資料において提供される情報の正確性を確保するために相応の努力を払うものとし、その正確性について何ら表明または保証するものではありません。本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の合意なしに第三者が公開または利用することはできません。本資料に記載された将来見通しに関する記述は、本資料作成日現在における将来の財務内容および成長可能性に関する記述です。そのため、将来見通しに関する記述に明示的あるいは黙示的に示される業績や事象が実際の業績や事象と大きく異なる場合があります。将来的に当社の状況に変化が生じた場合にも、当社は、将来見通しに関する記述について更新して公表する義務を負うものではありません。

RGA リインシュアランス カンパニー日本支店
 〒107-6241 東京都港区赤坂 9 丁目 7 番 1 号 ミッドタウンタワー41F
 TEL 03-3479-7191 (代表)
 URL <http://www.rgare.com/>